

都市の快適さや先進感だけでなく、 自然や歴史も感じられる住環境がこのまちのいいところ。

つくばエクスプレスの開通と共に開発が進められている流山市ですが、
それだけが住みたくなるポイントではありません。
大切な家庭を育む環境が整い、
市民の定住志向率83%※と首都圏でもトップレベル。
住む、遊ぶ、楽しむなどの魅力をお伝えします。



利根運河

利根川と江戸川を結ぶ利根運河は、明治23年(1890年)にオランダ人技師ムルデルの設計で作られました。
現在は水辺公園として整備され、春にはサクラ、秋には曼珠沙華が咲き、土手沿いを散歩したりサイクリングしたりと、憩いの場となっています。
平成18年(2006年)には、自然・歴史・文化が共存したその景観が評価され、社団法人土木学会から選奨土木遺産に認定されました。
大正2年(1913年)に建立された日本一古いと言われているビリケンさんが鎮座しており、幸運のスポットとして人気です。



流山おおたかの森駅周辺

「流山おおたかの森駅」を中心に開発が著しく、日々進化するエリア。駅前
の広場では定期的にマルシェなどのイベントが開催され、非日常のワクワクを
楽しめる場となっています。また、駅から直結する大型商業施設にはファッ
ション・デパ地下の魅力を伝えるストア・飲食店のほか、家電量販店、スポー
ツ用品店、シネコン、大型書店などを備え、平日・休日問わず楽しめます。



緑豊かな街並み

流山市では、ニュージーランドの瀟洒な街並みを模して開発された住宅群
のある東深井地区をはじめ、敷地面積が広く閑静な住宅地として人気の
高い松ヶ丘地区や江戸川台地区など、住み心地と景観に配慮したまちづ
くりを進めています。



流山本町

江戸時代後期から明治期に掛けて「白みりんの町」として
隆盛を極めた時代の建物が残されている、流山市の歴史を感じられる町。
歴史的建造物を改築した店舗が続々とオープンしています。
陽が落ち、そこかしこに街の今昔を醸す切り絵が浮かぶ行灯のあかりに、
思わず誘われる“タイムスリップ散歩”が楽しいスポットです。



一茶双樹記念館
「小林一茶寄寓の地」として由緒ある流山市指定記念物(史跡)。

丁字屋
大正12年(1923年)築の町家造りの建物が生まれ変わったフレンチレストラン。

蔵のカフェ+ギャラリー^{どわ}
古い蔵を改装した、木の温もりと柔らかな灯りに心和む空間。

社のアトリエ黎明
画家・笹岡一、秋元松子両氏ゆかりのアトリエを整備した文化施設。

あかり館@雑貨konoko
乾物屋だった商家を改装し、雑貨や和紙素材を使った照明を扱うお店。

切り絵行灯の街並み
手作りの切り絵がはめ込まれた行灯の優しい灯りが、街道を彩ります。

オープンガーデン

森のまち流山では、住宅地にも緑があふれ、市内各所で手入れの行き届いた素敵なお庭を見かけます。毎年5月には市内ガーデニングクラブにより「オープンガーデン」が開催され、市内外からたくさんのギャラリーを集めています。



GREEN CHAIN PROJECT 流山市 グリーンチェーン緑葉☆☆☆ 緑の価値を高める、つなげる。 「流山グリーンチェーン戦略」

環境共生型都市として快適な生活空間をつくるため、市の「認定制度」により植栽された街中の緑と周囲の森の緑を繋げ、緑の潤いにあふれた街並みを目指します。